認定特定非営利活動法人REALE WORLD

**令和4年度（2022年度）事業報告書**

**１．事業の成果**

　①「文化スポーツなどを通して子どもの心を育む事業」においては、以下のような成果が得られました。

・日本の少年サッカーチーム「FCレアーレ」では、サッカーを通して心身を育むと同時に、当団体主催のサッカー大会の際は地元の商店街へポスターの配布、また、ラジオ出演、グラウンドの清掃活動などの社会活動も積極的に行い、子どもたちが自ら考え行動する力を身につける機会を提供しました。
・幼児から小学生低学年を対象とした運動スクールとして「走り方教室」を9月から月2回のペースで開催。楽しく体を動かしながら、より良い「走り方」を学びつつ、ゴールデンエイジの子どもたちの総合的な運動能力を伸ばすことに貢献しました。

・小学生を対象に、コミュニケーションツールとしての英語を学ぶオンラインクラスを7月から週1回のペースで開催。その際に外国人と英語でコミュニケーションする機会も取り入れ、文法の正しさよりも言いたいことが伝わることを重視。子どもたちの英語への苦手意識が軽減しました。

・ネパールで運営しているサッカーチームでは、子どもたちの体力向上を果たすとともに、グラウンド清掃や挨拶など、生活習慣の向上がみられました。

・ネパールではキッズサッカーの指導ができるコーチが不足していることから、子どものサッカー指導に特化したコーチ育成講座を開催。キッズサッカー指導基礎レベルを11名が終了しました。

・ネパールで12月から2月にかけて、地元の青少年を対象にサッカー大会を開催。試合の機会が少ないネパールの子どもたちに試合の機会を提供することができました。また、チームではなく個人のエントリー方式をとったことで、普段チームに所属していない子どもたちにサッカーを体験してもらうことができました。加えて、クラブチームや学校の枠をこえた交流の機会を、子どもたちに提供しました。

・ネパールでは、体育の実技の授業のない学校が多く、首都であるカトマンズでは、子どもの運動不足が問題となり始めています。そこで、今年度から学校と連携、レアーレワールドのコーチたちを派遣し、スポーツの実技授業をスタート。子どもたちにとって身体と脳、両方をバランスよく活性化することの大切さを少しずつ実感してくれる学校が増え、来年度は３校で実施する予定です。

　②「心身の健康増進、コミュニケーション能力の活性化に関するワークショップ事業」では、コロナ禍を経て、コミュニケーションに不安を抱える人が増えている状況の中、自己表現力やコミュニケーション能力の向上のための講座を提供。多くの参加者の学校や職場、家庭での生活の質の向上に貢献しました。

　③「海外の文化、歴史を学び相互理解を深める国際交流事業」に関しては、以下のような成果が得られました。

・サッカーシューズやユニフォーム等の寄付を通して、日本と途上国の子どもたちの交流を図るプロジェクトでは、ケニアとエチオピアとネパールにて活動を行いました。

・ケニアでは、2021年度に送付した寄付品を税関から受け取る手続きを現地にて行いました。その後、ナイロビ市内のローカルサッカークラブへの寄付品の贈呈、ランニング大会見学、キベラスラム見学とサッカークラブオーナーとのミーティング、今後力を入れていきたいスタディプログラムの視察や現地旅行代理店とのミーティングを行いました。

・エチオピアでは、ボランティアの大学生と共に、現地の２つの学校を訪問し、生徒たちと交流後、サッカーウエアやボールを寄付し、道具不足の解消に貢献しました。また、学校の生徒の家庭訪問を実施、子どもたちの生活の様子を視察。今後の活動に役立つものとなりました。

・ネパールでは、２カ所僻地の村の学校を訪問。学校で交流授業を行い、その後、サッカーウエアやボールを寄付。十分に道具が揃わない村の学校の子どもたちに、サッカーをプレーする機会を提供しました。

・日本のサッカー選手を派遣しての海外でのサッカー交流、文化交流活動では、海外のサッカーチームでプレーしながら、社会貢献活動を行うことに興味ある日本の青年を広く募集。面接、トライアル、トレーニングを行いました。うち1名をイギリスに派遣し、「London Bees」（FA Women’s National League South）と契約を果たしました。また、別の1名をブータンに派遣し、「Thimphu City FC」(The Bhutan Premier League**)**と契約できました。現地では、サッカー選手や、サッカースクールの子どもたちとサッカーを通した交流活動を行ってもらいました。令和５年度はさらに多くの選手を海外のチームに派遣する予定です。

・日本の子どもたちとネパールの子どもたちのオンラインを利用した交流会を2回開催しました。交流を通して、それぞれが相手の文化や生活を知り、視野を広げることができました。

④「職業能力、開発、雇用機会の拡充の支援から生まれる物販事業」では、2022年度もネパールコーヒー販売を継続し、ネパールの農業における環境問題の解決に寄与し、ネパールにおける職の雇用機会拡充に貢献することができました。また、今年度からは、マルシェなどへの出店も積極的に行い、ネパールコーヒーを通して、ネパールの抱える問題への理解を深めていただき、国際協力の必要性をアピールすることができました。

⑤「イベント主催、イベント出展、機関紙の発行などの普及啓発事業」では、以下のような成果を得ることができました。

・ゲーム音楽をオーケストラで演奏するコンサート「JPRG Collection Symphony」を開催。子どもに親しみやすいゲーム音楽のコンサートで、子どもたちに本格的なクラシックを体験してもらうことができました。

・「本気と社会貢献」をテーマにしたサッカー大会「レアーレカップ」（8歳以下）を開催し、静岡県内の10チームに参加いただき、本気になることの大切さや社会貢献、国際協力について、子どもたちはもちろん、保護者やスタッフ全員に学んでもらうことができました。

・食育セミナーは、新型コロナ感染症対策により年３回の計画を２回に減らしての開催となりましたが、親子で参加できる形式で行い、心、食、身体が密接に関係していることについて親子で学んでいただきました。

・ネパールでも親子を対象にアスリートのための食育セミナーを開催し、保護者の方にも、子どもたちの健全育成において食が重要であることへの理解を深めてもらいました。

・西南学院大学サッカー部広報のメンバーを企画運営チームに迎え、主に大学生をメインターゲットとし、９月より6回のオンライン講座を行いました。様々なゲストにご自身の経験をシェアしていただき、参加者の方に、視野を広げ、価値観をアップデートする機会を提供するとともに、レアーレワールドの活動について紹介することができました。

　⑥「目的を同じくする団体支援活動」では、ネパールのカトマンズのライオンズクラブの農村部の学校支援事業において、サッカーボールの寄付を通して支援を行いました。

⑦「その他目的を達成するために必要な事業」では、長野県の開田高原にある木曽町における農業体験プログラムを実験的に実施。新しい体験を求める大学生と、若い活力を必要とする過疎化が進む農村を結びつけることで地方の関係人口増加を図る試みを行いました。木曽町の役場ともミーティングを重ね2023年度も同プロジェクトを実施することが決まっています。

**２．事業の実施に関する事項**

(1)特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **定款の事業名** | **事業内容** | **実施日時** | **実施場所** | **従業者の人数** | **受益対象者の範囲及び人数** | **事業費の金額(千円)** |
| 1. 文化スポーツなどを通して子どもの心を育む事業
 | ・小学生、中学生を対象にしたサッカーチームの運営（日本）・幼児〜小学校低学年を対象にした運動スクール（日本）・英会話クラス（日本）・小学生〜高校生を対象にしたサッカーチームの運営と生活指導及（ネパール）・キッズサッカーチームコーチ育成（ネパール）・サッカー教室＆サッカー大会企画運営(ネパール)・学校のスポーツクラスへの講師派遣（ネパール） | 週５日9月より月2回7月より週1回週５日11月12月〜2月12月〜3月週2日 | 伊東高等学校城ヶ崎分校対島中学校伊東市民運動場伊東市民運動場／ロロシトアグラウンドオンラインネパール・バクタプル郡グラウンドネパール・バクタプル郡ネパール・バクタプル郡グラウンドネパール・バクタプル郡の私立学校 | 8人1人2人4人1人15人5人 | 伊東市の小中学生52人伊東市の幼児〜小学生30人伊東市の小学生15人バクタプルの6歳〜18歳の青少年68人バクタプルの青年11人バクタプルの8歳〜15歳の青少年130人バクタプルの8歳〜18歳の生徒250人 |  101622307611114745 |
| ②心身の健康増進、コミュニケーション能力の活性化に関するワークショップ事業 | ・「自己表現」講師 | 月に8〜10回 | オンライン | 1人 | 一般約15〜20人／回 | 3 |
| ③海外の文化、歴史を学び相互理解を深める国際交流事業 | ・ケニアの青少年との国際交流事業・エチオピアの青少年との国際交流事業・ネパールの青少年との国際交流事業・海外のチームでプレーしながら社会貢献活動に従事する選手を育成する事業・日本の子どもとネパールの子どものオンライン交流 | 4月27日〜5月5日11月22日〜29日3月3日〜17日通年9月17日11月5日 | ケニア・ナイロビ市エチオピア・アディスアベバ市ネパール・バクタプル郡、シンドパルチョーク郡、イラム郡静岡県伊東市イギリスブータンオンライン | 2人4人5人1人3人 | ケニア・ナイロビ市の青少年120人エチオピア・アディスアベバ市の学校の生徒250人ネパール・バクタプル郡の青少年53名、シンドパルチョーク郡、イラム郡の学校の生徒185名日本のサッカー選手15名、イギリスのサッカー選手56名、ブータンのサッカー選手21名、ブータンの小中学生32名伊東市の小学生12人/回ネパールの小学生13人／回 | 142885142623740 |
| ④職業能力、開発、雇用機会の拡充の支援から生まれる物販事業 | ・職の雇用機会拡充・環境などの社会問題を提起するためのネパールコーヒー販売 | 通年 | ネパール・パルパ及びシャンジャ郡ネパール・カトマンズ市 | 2人 | ネパール・パルパ、シャンジャ郡のコーヒー栽培農家、カトマンズ市でコーヒー選別をする女性80人 | 2912 |
| ⑤イベント主催、イベント出展、機関紙の発行などの普及啓発事業 | ・子どものためのクラシック入門コンサート・教育型サッカー大会（8歳以下）・食育セミナー・食育セミナー・食育セミナー（ネパール）・オンライン講座 | 5月8日5月21日8月3日11月24日1月14日9月14日10月29日12月4日12月19日3月11日3月25日 | 東京オペラシティ（東京都新宿区）伊東市民運動場城ヶ崎高校体育館城ヶ崎高校体育館Zoom開催Zoom開催〃〃〃〃〃 | 85人15人1人1人2人６人６人６人６人６人６人 | 一般167名静岡県内の小学生117人とコーチや保護者など一般115人伊東市の小学生15人と保護者14人伊東市の小学生17人と保護者13人ネパール・バクタプル郡の親子65組一般15人一般18人一般22人一般20人一般23人一般40人 | 125404094955100 |
| ⑥目的を同じくする団体支援事業 | ・ネパールの青少年へのスポーツ道具の寄付による支援 | 12月23日 | ネパール・カトマンズのライオンズクラブ | 1人 | カトマンズ近郊の学校の生徒260人 | 5　 |
| ⑦その他目的を達成するために必要な事業 | ・農業体験プロジェクト | 8月5日〜13日9月4日〜8日 | 長野県木曽福島町 | 1人 | 大学生2人木曽福島町の農業従事者10名 | 0 |